

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

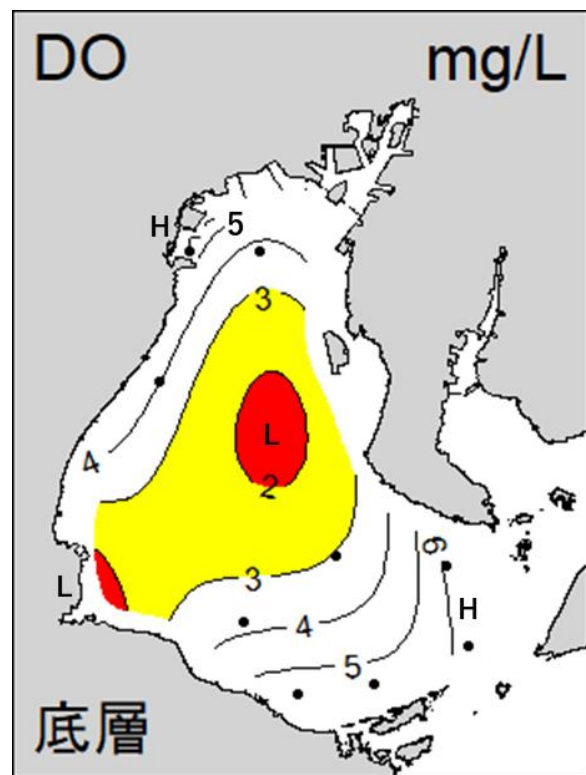
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾中央部と沿岸域の一部の底層において 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 1 2 日の調査結果

6 月 12 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 20.6～22.5℃、10m で 18.4～20.5℃、底層で 15.4～19.9℃ の範囲にあり、表層は平年並、10m と底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.5～12.1 mg/L、10m で 2.8～7.3mg/L、底層で 1.5～6.4 mg/L の範囲にあり、表層、10m 及び底層は平年並となっており、底層には湾中央部と沿岸域の一部において 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図